

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)
事業期間を通じた評価

国立大学法人広島大学 学長 殿

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の事業期間を通じた評価について、検討会における審査の結果を踏まえ、下記のとおり評価結果をお示しします。
あわせて、本検討会の所見についても別紙のとおりお示しします。

記

S	当初の構想を上回る取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できたと評価できる。
---	---

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の
事業期間を通じた評価

国立大学法人 広島大学

(検討会の所見)

- グローバル戦略、地方創生の課題を教育と研究を中核にして、うまく循環させ、持続可能な発展を導く科学として実践し、我が国が掲げる Society5.0 の実践を行い、コロナ禍への対策を奇貨として新しい時代を先導しようとするもので、随所に斬新な取り組みが工夫され、それらを実現している。
学長のリーダーシップによるこうした理念や活動、体制の整備が、個々の教員の教育研究活動を萎縮させることなく、また、「雑用」を増やすこともなく、むしろ教員の意識を高揚させているようにさえ見受けられる素晴らしい経営改革の展開である。
KPI に関しても、ほとんどの項目で達成している。地域創生の関連では、広島県最大の都市である広島市も巻き込んだ展開があるとより効果的であろう。
- コロナ禍にありながら、国際連携を着実に進めるのと同時に、地元の自治体との連携も強化されており、この両面での取り組みの歯車がうまく噛み合う形での改革が進展していると評価できる。グローバル化が一段と加速するなかで、地方の有力国立大学の改革モデルの好事例となることが期待される。
- ASU を中心としたグローバル活動とスマートシティなどの地域活動の取り組みにより、地域と大学が共に成長しようという特色ある構想が着実に進展している。KPI も大半を達成している。
- 学長のリーダーシップのもと、大学のグローバル化、地方自治体との連携とも順調に進んでおり、それが大学改革と機能強化に役立っていると判断する。今後のさらなる展開を期待した。
- 初年度のプレゼンに対して全体が大きく成長している印象である。特に、自治体の巻き込み方がリアリティがあり大変良い。真の産学官民が一体となった取り組みが期待できる。
- ASU との連携事業をはじめとする国際求心力醸成の取組みは着実に進捗している。地方大学のグローバル展開と教育研究両面での、地方総合大学と立地都市・自治体との連携のあり方のロールモデルになり得る堅実な取組みである。
コロナ禍での教育研究実践をベースに、Post コロナを見据えた DX、リモート教育の提供(バーチャルキャンパス)についての先進的な展望と取り組みは大いに期待できる。

次項あり

- 地域国立大学として、グローバル拠点としての特徴を堅持しながら地域貢献を両立しようとしている稀有なケースの一つと理解している。特に、東広島市とのタウンアンドガウン構想は、民間資金の導入にも成功している点でも注目している。さらには、より長期のペースペクティブから、この構想がさらに広域の自治体との連携を作り出していけるのか、瀬戸内海を挟む地域に広がっていくのか、今後も着目したい。